

県境を跨ぐ地域を 資源とアイデアでつなぐ 地域づくりプランナー

■ ルート名：日豊海岸

シーニック・バイウェイ

橋本 正恵 さん



Scenic Byway Kyushu Meister



大分県佐伯市観光協会会長
NPO 法人蒲江ブルーリズム
研究会代表
橋本 正恵さん

◆ 特徴的な活動

「活力ある地域づくり」

- ・ イベント企画・開催
- ・ 地域資源の発掘・活用
- ・ 地域づくりプランナー

「人材育成」

- ・ 地域活性の指導

活動内容

高速道路もJ/Rもない「辺境の地蒲江」を「交流地域」とするため、蒲江全体をキャンパスとした「あまべ渡世大学」を開講するなど「地域づくりプランナー」として活動する橋本正恵氏は2013年に九州風景街道マイスターに認定。

持続的な海業を展開し、海業ツーリズムを実践するため「東九州道伊勢えび海道事業」を実施や講演活動を行う中で地域関係者の後継者の育成・指導に取り組む。

魅力ある 観光地域づくり

シーニック・バイウェイとは、アメリカ合衆国発祥の景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)という言葉であり、日本では、「風景街道」と訳される。九州風景街道には「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」があり、日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会会長である橋本氏によって観光振興が広まっている。1996年に蒲江町観光協会会長に就任し活動を始める。

「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の基本的な

コンセプトは、「浦ごとにある持続的な海業の連携により、質の高い道路空間づくりを通じた地域振興」である。

地域が持つ資源を活かし、自然との共生を図りながら、質の高い道路空間を通じた地域振興をめざして道路の魅力と価値を高めるため、橋本氏は2006年に「かまえブルーツーリズム研究会」を結成した。

「伊勢えび祭り」

佐伯市・延岡市の「海業ツーリズム」を推進するためのPRを活動として大分県佐伯市と宮崎県延岡市の海道筋の店舗で、伊勢えび漁が解禁となる9月からの3ヶ月間、「伊勢えび祭り」を開催。県境を越えた官民連携事業である。市内の参加店で新鮮な伊勢えびが堪能できる催しとなっている。また、PRキャラバン隊結成や福岡市でのラッピングバス(バス全面に描いた「伊勢えび」広告)で運

行するなど、「蒲江」の知名度を上げている。観光や食の拠点として、大注目のルートとなり他地域への魅力をアピールする好機となった。



活力のある 情報発信力

ブルーツーリズムの推進等の功績を評価され、橋本氏は、橋本氏は「日本観光振興協会会長表彰」を受賞している。大漁旗を身にまとい、活力のある情報発信力と個性あふれるアイデアなどで注目を集め、さらに、地域の活性化を目指した取り組み「あまべ渡世大学」を立ち上げ、観光客にウニ割り体験や伊勢海老のさばき方を指導する等、地域後継者の指導や育成にも取り組んでいる。

Scenic Byway Kyushu Meister

日豊海岸シーニック・バイウェイ
橋本 正恵さん



伊勢海老街道東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り(20周年時のチラシ)